

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 加藤 敏昌
幹事 青山 敏郎
会報委員長 小池 宗

No. 24

ROTARY BRINGS HOPE ロータリーは希望をもたらす

1986~87年度

RI会長 M.A.T. カバラス

第218回例会 昭和61年12月16日(火) 晴

◇ “我等の生業”

◇出席報告

会員 57名 出席 42名

出席率 73.68%

前回 12月13日 (修正出席率)98.25%

◇ビジター紹介 2名

◇お誕生日祝福

林夫人(12/4)、深見君(12/16)

◇ニコボックス

小林 明君 61年度第3回麻雀大会、西村さん、太田さん幹事代行ありがとうございました。又、家族会特賞ありがとうございました。結婚記念日祝い。

鷲野 義明君 年末家族懇親会、ご協力ありがとうございました。

魚津 常義君 ホームクラブごぶさたしました。

黒野 貞夫君 スピーカーに川口霽亭氏を紹介させていただきます。

尾関 武弘君 年末家族会無事終了いたしました。多数の御参加誠にありがとうございました。又、親睦活動委員の皆様、大変ご苦労さまでした。

加藤 敏昌君 先日の家族会、皆様ご苦労様でした。会員に身ぐるみはがされ年がこせません。

西川 豊長君 先日の年末会員家族懇親会は大変楽しい一刻を過ごすことができ、又、お楽しみ抽選会にも思いがけず二等賞を頂戴して、本年有終の美を飾れそうです。余り浮かれてバッチを忘れました。

鈴木 正男君 年末家族会には、嫁2人、孫4人それから家内と大勢お世話になり、本当にありがとうございました。会長はじめ関係の皆様にご心から感謝申し上げます。

武内 清君、竹内 真三君 本日早退させていただきます。

深見 章君 誕生日祝い。結婚記念日祝い。
林 淳三君 夫人誕生日祝い。

◇深見副幹事報告

1. 次回例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方はお残り下さい。

◇パナー紹介

八幡西RC 竹内 真三 君
CAMPINAS-BRASIL RC

橋本 義郎 君

加藤(敏)会長挨拶

先回の例会では、胃潰瘍についてお話しましたが、年の瀬も迫ってまいりましたので、会員の諸君は夜遊びの機会が多く、暴飲暴食を強いられる事も、多いと存じます。更に、大部分の方は、「ボーナス」の支給に頭を悩ませ「ストレス」が、うっ積していると思われます。このいずれをとっても、胃潰瘍ないしは、十二指腸潰瘍の発症の引き金には十分です。

皆様御承知の様に、「グラスファイバー」による胃内視鏡が出来てから、我が国の技術は今や世界の最先端にあります。

最近では、0.9cm以下の細い内視鏡も出てまいりました。その先端にあるカメラの部分も角度を大きく変化出来るようになり、視野も非常に広がってきました。これを使用する医師側にとっても、被検者である患者にとっても非常に楽な検査方法となりましたが、胃内視鏡で必ずしも100%の診断は、つきませんが、レントゲン写真と相俟って欠かせない検査方法の一つです。

本日は、「スライド」により、胃内視鏡で見た早期胃癌を中心とした症例を供覧しますので、よく御覧になって年の瀬を暴走しないようにお気を付け下さい。

最近では、胃内視鏡と「レーザー」を併用することにより、早期胃癌の一部は非手術的

に治癒させることが、わずかではありますが出来るようになりつつあることも併せてお話しします。

◇講演

“良寛について”

良寛会参与

川口 霽亭 氏 (紹介 黒野君)



文政11年(1828)11月に越後の三条(新潟)を中心に大地震が起き、死者1600年余、倒壊家屋12,000余、焼失家屋1,300余と、当時としては想像を絶する大惨事であり、眼前は地獄絵そのものであったと思う。ときに良寛71才、国上の乙子神社の草庵から木村家の庵に移って2年目の冬のことであった。良寛はその惨状を自分の目で確かめるために、三条を訪れ、

かにかくに止らぬものは涙なり

人の見る目も忍ぶばかりに

と詠っている。そして、世の人々に対し警鐘とも云うべき詩を残している。

日々に日々にまた日々に、日々に夜々に寒さは肌を裂く、天にみなぎる黒雲に日の光も弱々しく、大地あまねく狂い吹く風は雪を捲き上げる、猛る大浪は天空を蹴って魚竜も浮かび漂い、塴も壁も鳴りはためいて民草哀れ、過ぎこし40年をいま振り返って見れば、世情は実に駭けるような勢いで軽薄へと流れた。その上太平に甘えて人心はたるみ、邪悪な輩は群を作って競ってこれを利用した。恩義をば却って誓で返し、信義なぞとんと知らぬ顔、得な話となれば毛1本でも奪い合い、道の話ときは骨の髄までの愚かさ、傲り高ぶり人をだまして凄腕と自慢し、紫を朱に変えるペテンが何年続いたことか、鹿を馬と言いくるめて知らぬ顔、満天下の人びとはみなこの調子、私だけ敷き怨んで誰に訴えようというのか、すべて物事は見えぬところから、見えるようになるのがやはり常、この度の災禍はこれでも遅いくらいのものだ。ひとかどの人間たるもの意気どみをもつべし、女の子みたいに人を怨み、天をなじることはすまい

ぞ(入矢義高訳「良寛詩集」より)

又、「『星辰失度、歳序無節』は、天のいましめ」とも説いている。以上は良寛の詩文の一例にすぎないが、「三原山噴火」の惨事、「異常湯水」という事態に合わせて考えると、随分と教えられるものがある。

良寛は一沙門として生涯を送った寡黙な禅僧であったが、彼の詩の中には私達の「心の糧」となるものがいくつもある。

◇RIニュースより

世界理解月間中

ロータリーの希望と平和のメッセージの普及を

「本当に平和な世界で生きる値打のある暮らしができるように、私達は地域社会と一体にならなければなりません。」来る2月の世界理解月間中、クラブ会員は、カバラス会長のこの考えを考慮するとよいでしょう。

このロータリー特別月間中、あなたのクラブは、これまでの国際的業績を広報するだけでなく、現在の国際的プロジェクト(特にポリオ・プラス・プログラム)に対する一般の人の支援を得るようにしなければなりません。ポリオ・プラス・プログラムは、本年度のテーマ、「ロータリーは希望をもたらす」にふさわしいものです。2月23日が、ロータリー創立82周年記念日であるだけでなく、世界理解と平和の日としても遵守されていますので2月は特別な月であります。このことにご留意下さい。これは、ロータリーに対する一般の認識と理解を深める素晴らしい報道価値のある機会であります。23日をあなたの地域社会の「希望の日」として公式に発表してもらうようにして下さい。

他の試案を次に挙げます：

○奨学金；保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)プログラムを含むロータリー財団の諸活動に参加すること。

○世界社会奉仕に参加すること--- WCS プロジェクトまたは他の意義あるプロジェクトを選ぶこと---必要であれば、地区WCS委員長に助言を求めること。

○国家間の交流または訪問を組織化すること。

クラブ会長必携中の「世界社会奉仕」委員会資料(706-JA)とロータリアン必携の第5巻は、内容豊かな参考資料です。

今から2月の計画を立て始めましょう。ロータリー創立を祝い、世界理解と平和を通じて希望のメッセージを広める決意をして下さい。

◇次回例会(12月23日)

年末例会の為、講演はございません。

◇次々回例会(12月30日)

例会場の都合にて休会。